

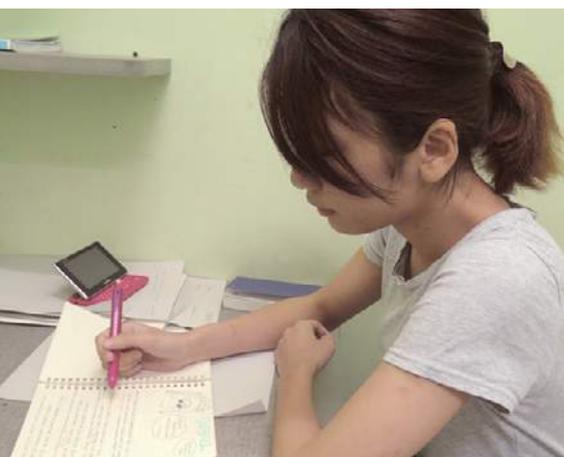
フィリピン セブ島真面目留学

ZEN English



「真面目留学」「顧客視点」「KAIZEN」

をテーマにした新しいタイプの英語学校



ZEN
English



真面目留学

どうの方が生徒さんにいるのかは、学校のカラーを決定付けます。当校では長年フィリピンでの英語学校運営の経験をもとに、共存可能な生徒のカテゴリーを分析したうえで、「真面目（まじめ）留学」というキーワードにて、真面目にセブ島留学で英語力を伸ばされたい方のみを受け入れる方針です。例えば、中高校生などのお子さんを夏休みにフィリピン留学させたい親御さん、または学校関係者のお気持ちを察すると、フィリピン留学中に出会う社会人や大学生がどのようなタイプの人たちなのかは非常に重要な要素となります。また相部屋などでルームメイトがいる方などは、ご本人は真面目に勉強されたいのに、ルームメイトが毎晩友人と出歩くことや、週末旅行に出かけてしまっただけでは勉強のモチベーションを維持することが非常に難しいのは言うまでもありません。

顧客視点

当校は顧客重心の徹底的にカスタマイズしたサービスの提供にこだわっており、サービスや英語学習の考え方を押し売りするつもりはありません。英語学習の根本的な教育方針を維持しつつ、夏休み中の小さなお子さんの留学、TOEIC を短期間に上昇させたい大学生・社会人、海外就職・海外起業の準備で留学されたい方や、海外大学・大学院への進学準備としてご利用されたい方まで、幅広く当校のサービスを提供させていただきたいと考えております。カスタマイズしたサービスは授業のカリキュラムのみにとどまらず、親子留学の授業の提供方法・宿泊方法や、食事のあり・なしの選択ができること、また夜間のマンツーマントレーニングを英語・日本語にて追加でご選択いただけることで実現しております。

KAIZEN

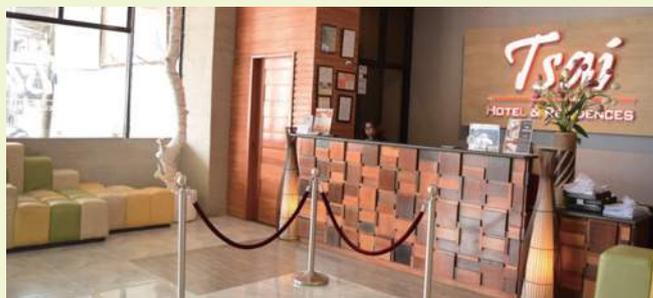
なぜ？を5回繰り返し、従業員が自らKAIZENを提言し会社をよくしていく。日本的経営に大きな役割を果たしてきた「KAIZEN」の精神をフィリピン人講師・従業員にも徹底させることでこそ、日系の英語学校として日本クオリティーのサービスを提供していくことができるのです。ZEN English ではこの「KAIZEN」をサービスの品質を維持向上させるための最重要テーマと考え、ZEN（禅）の精神と合わせて実行していく所存です。

沿革

2009年	セブ大学との提携
2012年	南フィリピン大学との提携開始
2015年3月	事業授受により日本人経営となる
2016年7月	南フィリピン大学との提携終了により社名変更ZEN English開始。

ZEN English の前身企業は2009年よりセブ大学、南フィリピン大学提携の英語学校を運営していた ROLY POLY ESL であり、2016年7月の南フィリピン大学との提携解消をきっかけに、日本人専門の英語学校として生まれ変わった新しい英語学校です。

学校紹介……………	1	アクティビティ/サービス……………	18
代表挨拶……………	2	ギャラリー……………	19-20
ZEN English 周辺環境……………	3	学校規定……………	21-22
ZEN English の強み……………	4		
ZEN English の特徴……………	5-7		
ZEN English のスタッフ……………	8		
ZEN English のカリキュラム……………	9-14		
ZEN English の施設……………	15-16		
生徒様の体験談……………	17		



代表者挨拶

ZEN English の代表を務めております藤木秀行と申します。

大学卒業後銀行に8年勤務し起業し15年目になります。そもそも2010年に海外進出をすべく、英語の勉強を久しぶりにし、海外進出とMBA留学を同時並行で進めてまいりました。2016年7月時点で、シンガポール（持ち株会社）、フィリピン（セブ島に英語学校2校）、台湾（事業会社）、韓国（支社）に拠点を拡大しております。

私が英語の勉強を再開したのは40歳の時です。海外で仕事をするのも、英語で仕事をするのも全く初めての状況で開始をし、現在では仕事で英語を使うのに全く不自由がない状況です。とはいえ、日本人の英語は、その他アジアの国、あるいはヨーロッパ出身の人と比較をすると、非常に低いと考えております。実際にMBA留学中は英語力が他のクラスメイトより低く大変苦勞をした経験があります。

そうした状況で、日本人が単なる語学留学でなく、一歩先を見据えた英語をフィリピン（セブ島）で学べる学校がZEN English となります。韓国式スパルタ授業は、授業中はいいいのですが、休み時間など一生懸命勉強する学生が少なく、日本人がより高い英語力を身につけるためには、新しいタイプの日本人専門の英語学校が必要と考えました。TOEIC、IELTS、TOEFL などの試験対策だけでなく、フィリピンの大学ばかりか、欧米、アジアの大学・大学院への進学サポートも行っております。

英語力を伸ばすためには、単にコミュニケーションの機会を増やすだけでなく、自己学習や高い目標を維持することが大切です。そうした生徒さんをサポートすべく、フィリピン人、イギリス人講師だけでなく、日本人マネージャーが親身に定期的にカウンセリングを行うことで生徒さんのモチベーションの維持と、英語力UPを目指していきます。学生さんを強制するのではなく、自主的に高い目標に向かって学習するための機会を提供するのが我々の仕事であると自負しております。

私自身も英語学習を今後も続けていくことで、生徒さんによりよいサービスの提供をお約束いたします。

代表取締役 **藤木 秀行**

周辺環境の良さ



セブ市の中心の一つであるLahug(ラホグ)というエリアにあるTsaiホテルの中に、ZEN Englishはマンツーマン教室及び学校寮も含めた施設がすべてそろっています。学校と学校寮がホテル内にあるというだけでなく、周辺で必要なものはなんでも購入できてしまうという、非常に便利な立地にあります。

JYモール

スーパーマーケットや雑貨店、レストランの他に、両替所とATMも完備しています。24時間営業のコンビニエンスストアも。(学校から徒歩3分)

スポーツジム

JYモール内にあるジム。ZEN Englishの生徒は無料で使用することができます。トレーナーもいるので初心者でも安心です。(学校から徒歩3分)

飲食店

カフェ、イタリア・日本・フィリピン・韓国・中国などの各種レストラン、ファストフードなどの飲食店が全て徒歩圏内にあります。(学校から徒歩1分～10分)

マッサージ

上手い、安い、設備が良いと3拍子揃った良質な「Tree Shade SPA」を始め、学校から徒歩3分以内のにも1時間150ペソの格安店があります。(学校から徒歩7分)

プール

リゾートホテルに併設された綺麗なプール。朝6時～夜9時まで営業し、子供用と大人用プールがあります。タオルは無料です。(学校から徒歩10分)

ITパーク

世界各国のIT関連企業が集まるビジネススタウン。各種レストランやカフェなどが深夜まで営業しているためとても便利です。(学校から徒歩10分)

Camp Lapu-Lapu

フィリピン軍基地の敷地内にあります。ゴルフの打ちっぱなしが有名ですが、公園(広場)では、小さなお子様も安全に走り回れます。(学校から車で15分)

AYALAモール

フィリピンでもっとも高級なショッピングモール。海外ブランドも多く出店しており、日本人にもなじみ深いお店が揃っています。(学校から：車で10分)

SMモール

店舗数 500 以上という広さを誇るセブ最大級のショッピングモール。お土産に最適なドライマンゴーや雑貨などをお手頃価格で購入できます。(学校から：車で15分)

1 日本人マネージャーによる個別チューター制度と定期的な単語テスト・模試・レベルチェックテスト

従来のフィリピン留学では教師が生徒の弱みを把握し、的確なアドバイスをするということが難しい課題であったことから、ZEN Englishでは少人数制を生かして日本人マネージャーが定期的に生徒様との面談を行っています。個別面談の中では自習のやり方、授業の内容や日常生活の悩みなどを共有する機会となりますので、初めての留学の方やなかなか成果が出せず悩んでいる方でも効率的に英語力を伸ばし、安心してお過ごしいただけます。

また、毎週の単語テストやTOEIC、IELTS模試があり、毎月進捗確認テスト(レベルアップテスト)もあるため着実に英語力を伸ばすことができます。



2 柔軟性を持ったカリキュラムと留学オプション

ZEN Englishでは数日間の超短期留学、祝日割引、食事の有無などを取り入れ顧客目線のサービスを提供しています。忙しいビジネスパーソンの方でも留学のしやすい短期留学プラン、祝日の際に授業がない場合の返金、あまり食事をとらない方や外食を希望する方のための食事なしプランなどフレキシブルに対応が可能です。



3 生活に便利な絶好のロケーション

学校の周辺には徒歩5分圏内にカフェやコンビニ、スーパー、ショッピングモール、換金所、レストランなどが揃っており生活に困ることはありません。また、ホテル寮の側のカフェでルームキーを提示すると15%引きで食事が可能です。



4 フィリピンの大学への進学実績があり。アカデミックに強い

フィリピンやアメリカの大学への入学実績があり、サポート体制が整っています。フィリピンの名門であるサンカルロスやサンホセ大学への進学実績があり、滞在中から手続き、入学まで手厚いサポートを受けることが可能です。



5 すべてホテル寮で安全で清潔な環境

滞在中はホテルとなるため、週に2回のクリーニングサービスとランドリーサービスが無料でご利用いただけます。特に水回りや衛生面を気にせずに滞在できるため、長期留学の方でも安心です。1階にはホテルのセキュリティーガード、学校入り口にはZENのガードが常駐しており常に不審者がいないかどうかチェックを行っています。



6 講師と交流可能システムで英語漬けに

ZENでは講師との個人的な外出は週末に限り許可されていますが、普段のランチタイムに講師と一緒に昼食をとるシステムが導入されています。授業だけではなく休み時間も英語漬けになりたい、という方のために毎日のランチタイムには必ず講師が1名以上常駐するEOP(English Only Policy)テーブルが存在します。



選べるプラン

社会人のための2日間～超短期留学もOK

ZENでは2日間(3泊)の超短期留学でも対応しているため、忙しいビジネスパーソンでもしっかり学ぶことができます。短期間で繰り返し留学をするリピーター様も多く、少人数制ならではのフレキシブルな対応を受けることができます。また夜間マンツーマン授業も追加が可能のため、貴重な時間を最大限活用したい方にもおすすめです。



食事あり・なしオプション

普段から3食しっかり食べる習慣がない方や、アレルギーがある方、外食を楽しみたい方のために食事のオプションもお選びいただけます。食事なしプランの方でも現地で食べたいときには朝は100ペソ、昼と夜は200ペソでお食事の追加が可能となっており、代金は留学最終週にお支払いとなります。



無料のグループ授業

オプションクラスと呼ばれる無料のグループ授業では、マンツーマン4、6コマをお選びいただいた方の空きコマで受講が可能です。TOEICと初心者用文法クラスはフィリピン人講師、ビジネスとIELTSについてはイギリス人のネイティブ講師が担当しています。



各種割引

祝日割引

8週間未満の方で滞在中に祝日が含まれる場合は、その祝日分を事前に割引させていただきます。フィリピンでは突然祝日が追加されることもあります。割引は事前に分かっているもののみとなります。

長期割引・一般期割引

8週間以上の方は長期割引が適用されます。期間に応じて5～15%の割引を受けることができます。



マンツーマンに特化したカリキュラム

授業構成

ZEN Englishではマンツーマンのコマ数を増やすことにより、密度の高い授業を提供しています。マンツーマンは4、6、8コマから選択することができ、その中からさらに会話やTOEIC、ビジネスといったコースをお選びいただけます。



時間割

時間	内容	オプション授業
7:00 ~ 8:00	朝食	
8:00 ~ 8:50	マンツーマン授業	文法授業
8:50 ~ 9:00	10分休憩	
9:00 ~ 9:50	マンツーマン授業	
9:50 ~ 10:00	10分休憩	
10:00 ~ 10:50	マンツーマン授業	TOEIC試験対策
10:50 ~ 11:00	10分休憩	
11:00 ~ 11:50	マンツーマン授業	
12:00 ~ 13:00	昼食	

時間	内容	オプション授業
13:00 ~ 13:50	マンツーマン授業	IELTS試験対策
13:50 ~ 14:00	10分休憩	
14:00 ~ 14:50	マンツーマン授業	
14:50 ~ 15:00	10分休憩	
15:00 ~ 15:50	マンツーマン授業	BUSINESS英語
15:50 ~ 16:00	10分休憩	
16:00 ~ 16:50	マンツーマン授業	
17:30 ~ 18:30	夕食	
18:30 ~	自由時間	

バディーティーチャー制度

バディーティーチャーとは、マンツーマン講師の担任の先生のような存在です。留学生一人一人に、選抜された経験豊富なフィリピン人講師をつけ、毎日の授業スケジュールの中で必ず2時間(1コマ)バディーティーチャーとのマンツーマン授業が組み込まれます。

バディーティーチャーをつけることにより、学習方法だけでなく生活面、他の講師との授業の進捗度等、留学生が気軽に相談できる環境をご提供できます。

※特別な理由が無い限り、バディーティーチャーの変更は行われません。



4サイクル制度

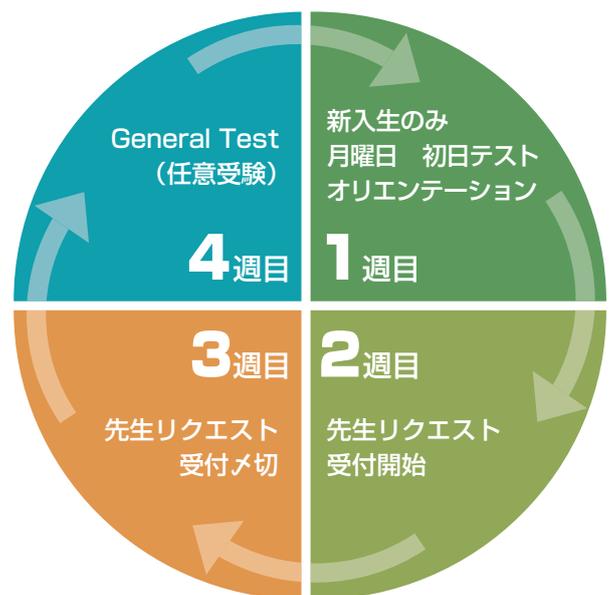
留学期間が長くなるほど、モチベーションが下がりがちです。当校では、いつでも新鮮な気持ちで授業に臨んで頂けるよう「4サイクル」制度を導入しております。

4サイクルとは、4週間で1つのサイクルとする制度で、4週間毎に講師やカリキュラムを変えるというものです。

※次回のサイクルは、「リクエストした先生」+「他の先生が変更」+「バディーティーチャー」となります。

※先生と合わない場合、先生の空きがあれば、申請した翌日から先生の変更が可能です。

※3週間未満の短期留学の方は、サイクルの切り替え時期であっても、先生の変更は致しません。



フィリピン人講師

当校の前身であるUSP(南フィリピン大学語学コース)から在籍している講師が多く、勤続年数は1~6年と非常に高い定着率と正社員率を誇っています。フレンドリーかつTOEIC高得点の講師を数多く揃えており、日本人への対応も慣れているため初心者の方でもリラックスして受講することができます。



ヘッドマスター

Shyn C. Marikit

セブ工科大学教育学大学院卒業
講師歴/勤務歴：12年



人気講師



Gerneil Apurado

講師歴5年
得意科目：TOEIC、文法



Genie Caballes

講師歴7年
得意科目：スピーキング、リーディング



Tim

講師歴20年
得意科目：IELTS、ビジネス、リーディング

日本人マネジャー



フィリピン人スタッフ



クリーナー、食堂スタッフ、ガード



専属バリスタ

会話特化コース

英語の勉強をこれから始めたい、短期間で会話力をアップさせたい、観光で困らないようになりたい、外国人とコミュニケーションがとれるくらいの英語力を身に着けたいという方のためのコース。細分化されたスキルとメソッドで、発音矯正等効率的に英語力を伸ばすことができます。



試験対策コース (TOEIC/IELTS/EIKEN)

就職活動や進学、留学に必要なTOEIC、IELTS、EIKEN (英検) のスコアをアップさせます。模擬試験を用いた丁寧な指導と疑問点を徹底的になくすことで理想の点数に短期間で近づくことができます。



ビジネス英語コース

ビジネス英会話、時事問題を用いたディスカッション、メール・電話対応、プレゼンテーション等の基本的なビジネススキルを身に着けることができます。グローバルな環境で仕事をするビジネスパーソンにおすすめです。



大学進学コース

フィリピン及び欧米圏の大学への進学を目指す方のためのコース。レポートの書き方・読み方やプレゼンテーション、ディスカッション、面接対策など進学先で必要となるスキルを磨きます。



親子留学コース

親子で英語を学びたい方のためのコースです。お子様の集中力が途切れないように様々な工夫がなされており、しっかりと英語を身に着けることができます。



会話力、英語の基礎力を伸ばしたいという方のためにカリキュラムが組まれています。マンツーマン授業の中で発言する機会が多く、細かく細分化されたスキルとメソッドによって着実に力を伸ばしていくことができます。発音矯正、文法などからワンステップずつ進めることができるため、初心者の方でも安心して受講が可能です。



細分化された6つのスキルにアプローチ

従来のスピーキング、リスニング、ライティング、リーディングのほか、発音、文法、ボキャブラリー、ネイティブアクセントを含めたスキルを身に付けていくことができます。バランスの良い基礎力を最初に身に付けることによってその後も飛躍的に英語力を伸ばしていくことが可能になります。

また、授業内容は生徒様の希望や目標に合わせてオーダーメイドする事も可能です。日本人マネージャーとバディティーチャーによる細かいカウンセリングから、生徒様のレベル等を分析し、適切な教材と授業の進め方をアドバイス致します。



一般英語コースの授業サンプル



テキスト紹介

TOEICやIELTSの点数を飛躍的に伸ばしたい方のための試験対策コースです。フィリピン人講師によるマンツーマン授業の中で模試を利用しながら徹底的に疑問点をなくすことによって飛躍的な点数アップを達成することができます。TOEIC900点以上の日本人チューターから学習方法や授業内容などの指導が受けられるため、1か月あたり1人平均100点アップの実績があります。



選べるTOEICオプション授業

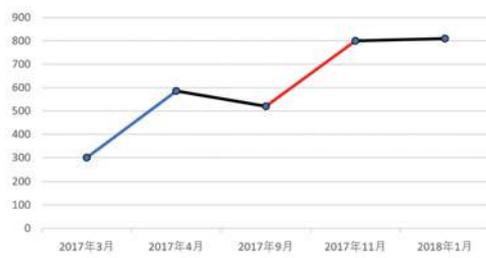
当校では無料のオプション授業としてTOEICのグループ授業も受講することができます。空いたコマも活用したいという方に好評の授業となっており、初心者でもゆっくりとついていけるペースで行っています。

合計5か月留学のTさんのTOEICスコア推移



※グラフ赤線が当校留学期間です

3か月留学のSさんのTOEICスコア推移



※グラフ赤線が当校留学期間です
※グラフ青線が他校留学期間です

IELTS対策

IELTS試験対策トレーニングをネイティブ講師から受けたフィリピン人講師のマンツーマンレッスンの中で、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングのOverallをバランスよくのばすことができます。午後のオプション授業ではネイティブ講師からIELTS対策を少人数で受講できるため、密度の濃い学習が可能です。

EIKEN (英検) 対策

国内外の大学や高校で入試に有利になる学校も多く、小学生～高校生でも無理なくチャレンジができる英検は近年人気が高まっています。模試を利用して丁寧に対策をすることにより合格率を高めます。日本では難しいスピーキング対策もばっちりです。

TOEIC,IELTS受験申込の代行

国内外の大学や高校で入試に有利になる学校も多く、小学生～高校生でも無理なくチャレンジができる英検は近年人気が高まっています。模試を利用して丁寧に対策をすることにより合格率を高めます。日本では難しいスピーキング対策もばっちりです。

短期留学も対応可能なZENでは、毎年数多くのビジネスパーソンがリピーターとしていらっしゃっています。短い期間で成果を出せるよう、さまざまなカリキュラムを用意しています。フィリピン人講師とのマンツーマン授業でつきっきりで指導してもらえますことから、普段対策がしにくいスピーキングやプレゼンテーションなど客観的に自分のスキルを見つめなおすことができます。



カリキュラム一覧

- ・ ビジネスミーティング
- ・ 国際ビジネス文化
- ・ ホスピタリティ英語(カフェ /ホテル)
- ・ ビジネス交渉英語
- ・ ビジネス文書作成
- ・ ビジネスプレゼンテーション
- ・ 時事問題ディスカッション
- ・ メール書き方、電話

オプションでビジネス英語も選べる

オプション授業で空きコマもビジネス英語を学ぶことができます。講師はイギリス人のネイティブのため、より複雑な議論や文化の違いなどを実際に学ぶことが可能です。こちらのオプション授業は中級以上の方におすすめです。



忙しい社会人の方のためにカスタマイズ可能

ZENでは短期集中で英語力を身に着けたい忙しいビジネスパーソンのために、短期であっても授業のカスタマイズが可能となっています。お申込みの時点で重点的に対策をしたい分野を申しつけいただくか、もしくは初日のチューター制度の中でご希望を出していただくことをおすすめします。1週間前後の短期留学の方は夜間授業を追加(1時間1,250円)するスタイルもおすすめです。

大学進学コースでは、主にフィリピンや欧米圏の進学を希望する方のためのコースとなります。大学へ入学してから必要になる論文の読み方やプレゼンテーション、ディスカッションの仕方などのスキルを一通り学ぶことができます。



フィリピンの大学入学プラン

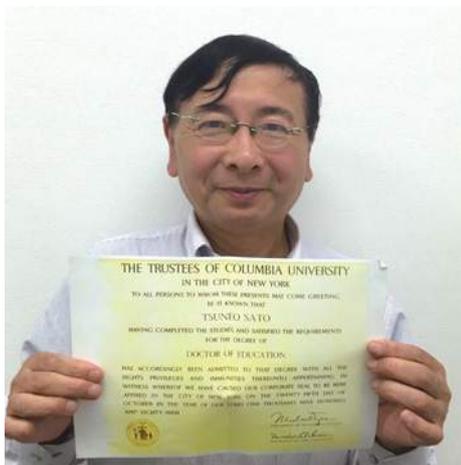
フィリピンの名門大学であるサンカルロス大学やサンホセ大学を中心に進学サポートを行っています。現地に到着する前にメールやスカイプでのカウンセリングはもちろんのこと、現地に到着してからも大学見学や志望校・専攻決め、書類の準備、滞在先の紹介などあらゆる面で日本人マネージャーからのサポートを受けることができるため、未成年の方でも安心です。

- ※最低12週間のお申込みが必要となります
- ※受験までのサポートとなり、100%の合格・卒業を保証するものではありません



アメリカの大学・大学院進学プラン

アメリカの大学・大学院に500名以上もの生徒を送り出しているコロンビア大学教育学部出身の佐藤博士と業務提携し、セブでアメリカの大学・大学院への進学の準備ができるコースを開講しています。欧米圏へ渡る前にフィリピンで英語力を高めることによって大幅に学費を抑えて準備することができます。



佐藤博士プロフィール

進学実績

コロンビア大学、ハーバード大学、ニューヨーク州立大学、マサチューセッツ工科大学大学院 (MIT)、オックスフォード大学院、スタンフォード大学大学院、モントレー国際大学大学院、ノースカロライナ大学大学院 他

1日4時間から英語が学べる親子留学プランをご提供しています。お子様のみ学習されたい場合、親子で学習されたい場合などニーズに応じてカスタマイズが可能です。特に小学生低学年以下のお子様に関しては集中力が切れやすいため、可能な限りアクティビティなどを含めながら飽きさせない授業を提供して英語力を伸ばせるようになっています。



授業内容の一例

- アルファベット
- ロールプレイ
- 基本英単語
- 英語日記の指導
- フォニックス発音

お子様ご入学可能年齢

- 4～5歳以上

お子様単独渡航可能年齢

- 15歳以上



フィリピンで幼少期から英語を学ぶメリット

2020年以降の新学習指導要領では、小学校低学年から英語を使用したコミュニケーションをとる学習スタイルが主流となります。幼児向けの英語学習制度も過熱していることもあり、フィリピンで綺麗なアクセントをリーズナブルな価格で身に付けられるという点からフィリピン留学に注目が集まっています。また、親子同室での滞在が可能な点や、マリナクティビティなど親子で楽しめるイベントも多く今後ますます親子留学が増えることが予想されています。

※お子様が単独でご留学される場合、親御様の同意書を提出していただく必要があります。

※安全上の理由から親御様はお子様より多いコマ数は受講できませんのでご注意ください。



TSAIホテル寮

ZEN Englishの寮はホテルとなります。日本とほとんど変わらない生活水準を保ちながら学習に集中することができます。周辺にはカフェ、コンビニ、スーパー、無料で利用できるジム、日本食レストラン、フィリピン料理レストランが徒歩5分圏内にあり、抜群のロケーションとなっています。夜間でも人通りが多く、ホテルのガードが24時間常駐しているため治安も良好です。



1 人部屋



2 人部屋



3 人部屋



部屋の設備

ベッド、机・椅子、冷蔵庫、洗面台、トイレ(紙が流せる)、シャワー(温水)、エアコン、収納スペース、セーフティーボックス、3階と4階に無料のウォーターサーバーがあり、熱湯・冷水両方使用可能です

ルームサービス

ルームクリーニング・ランドリーサービス(週2づつ)/空港ピックアップ/一般薬提供(無料)

学生ラウンジ

学生ラウンジ内には食堂やカフェもあり、食事だけでなくお昼休みや授業の合間にゆっくりとくつろげるオープンスペースとなっております。放課後や土日祝日も朝5時～夜23時まで開放しているので、自習室としても使用可能です。



カフェスタンド

学生ラウンジ内には低価格で利用できるCaféがございます。経験ある専属のバリスタが在籍しております。

キャッシュレスで購入可能なのでその場で支払う必要は無く、留学最終週にまとめてお支払いか、プリペイドカードを先に購入し、その金額分だけコーヒーを購入できます。

Caféでは日本人に大人気抹茶ラテ等、豊富なメニューを取り揃えております。



食 事

土日、祝日を含み毎日3食をビュッフェ形式でご提供しております。日本人シェフの指導のもと、日々改善を行っております。

また、食事を必要とされない方については食事なしプランの料金もございます。1日1食の習慣がある方や、健康上の理由から通常の食事がとれない方にオススメです。その日に食事をするかどうか決められたい方については朝食100ペソ、昼食夕食200ペソでその場でクーポンの購入が可能です。



愛理さんの体験談

ずっと夢だった世界一周をしたくて、セブ留学を決意しました。学生の時に台湾に旅行したのですが、その時に仲良くなった台湾人と英語で上手くコミュニケーションが取れず、今後旅をしていく中で、日本人の友達と同じレベルの会話を外国人としたいなと感じた事がきっかけです。

ZEN Englishを選んだ理由は、学校施設の快適さと、遊ぶことより勉強に集中したかったためです。ZEN Englishの前に他校に留学していたのですが、そこは周りの学生さん達が勉強する雰囲気ではなかったので、流されないように必死でした。英会話コースでは、先生が事前に旅行で使えるイディオムや、センテンスで自然に会話ができるようになるDMEメソッド等を取り入れてくれたので、留学に来た当初と比べると自然に英語でコミュニケーションが取れるようになったなと感じています。



シュンさんの体験談

留学前は英語が苦手でしたが、ZEN Englishで30週間勉強し、セブ島サンカルロス大学HRM(ホテル&レストランマネジメント)学部合格できました。フィリピンの大学を目指したきっかけは、英語学校の日本人マネージャーに海外大学進学の話聞いて興味を持ったことです。滞在中にフィリピンが気に入ったこと、学費が格安なことから、フィリピンの大学を決意し、大学進学をサポートしている学校を探していたところ、ZEN Englishの大学進学支援コースに出会いました。

大学進学支援コースでは、フィリピンの大学受験用の参考書を使ってマンツーマンで勉強しました。日本人スタッフには、勉強法の相談、学部選びから全体的な方針の相談をしてもらいましたが、中でも必要書類の確認が一番助かりました。

今後、大学の講義や論文は全て英語なので、英語力を鍛えつつ友達を増やし、大学のイベントも楽しみたいです。2020年の卒業後は、東京オリンピックで日本に来る外国人の方をおもてなしする自分の専攻を活かした仕事をしてみたいです。



毎週1回の新入生歓迎会

ZENでは、新しく来た新入生の方のために毎週1回新入生歓迎会を行っています。フィリピン料理をメインとして様々なレストランにて食事会を行っています。歓迎会は自由参加となるため、新入生でも在校生でも参加が可能です。



毎月1回のスクールトリップ

月に1回の土曜日に不定期で学校主催のアクティビティを行っています。アイランドホッピング、オスロブのジンベエザメ、夜景の見えるレストランなど参加費3000～5000ペソ程度で毎回違った内容のアクティビティを行っています。内容等は実施の1～2週間前程度に決定します。こちらも自由参加となりますので是非ご参加ください。



放課後無料ヨガクラス

毎週月曜日、学生ラウンジにて無料のヨガクラスを開催しています。普段から運動が苦手な無料でジムを利用されない生徒様に、勉強の息抜きとしてお勧めしているアクティビティです。ヨガマットは学校で用意しております。また、レッスンは完全に英語で行うので、リスニングの練習としてもお勧めしています。

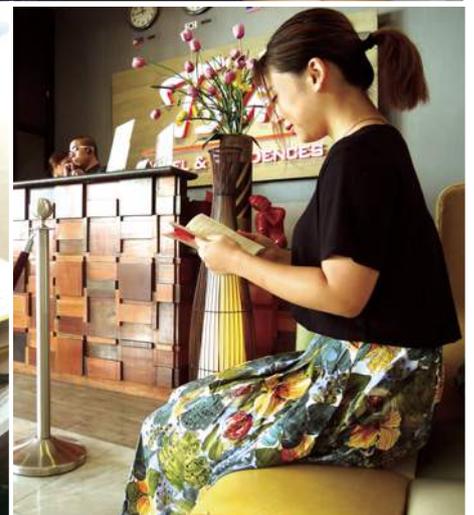


日本人講師によるTOEIC文法夜間授業

TOEIC600～800点をを目指す方を対象に、放課後TOEIC文法授業を毎週不定期で開催しております。

日本人スタッフが講師を務めるので、英語での文法授業が苦手な方に、日本語で効率よく文法やTOEICのコツを解説致します。







学校規定 (抜粋)

I 寮について

事務所業務時間：月～金 8時～18時 (昼食休憩 12:00～13:00)
日本人スタッフ 8時～17時
フィリピン人スタッフ 8時～18時

門限

- 23時 (18歳未満の場合は21時)
 - 門限の23時以降はガードマンが皆様のIDを管理し門限管理を致します。その為、23時の時点でお部屋に戻られる方は必ずガードマンにご自身のIDをお渡し下さい。(23時以降も校内自習室を利用される場合は、お部屋に戻る際にお渡し頂ければ大丈夫です。)また、23時前であっても就寝の為、またはお部屋にて滞在される為に寮内に戻りその後外出する予定の無い方は、あとで渡し忘れによる警告を与えられない為にもお部屋に戻られる際にIDをガードマンにお渡し頂くことをお勧め致します。
 - 外出する際 (授業、自習含む) は、IDを学校入り口にいるガードマンから受け取り、必ず携帯するようにしてください。IDをお持ちでないと、外出ができませんのでご了承ください。
 - 門限である23時 (18歳未満の場合は21時) の時点でIDがガードマンの方に返却されていないと、以下の場合を除き、いかなる理由でも警告1が与えられ、3回警告を受けると即退学となります。
学校内の自習室や階下の自習室を利用している場合 (学校施設をご利用の生徒さんは、ガードマンの寮内巡回によって確認されますので、IDの返却は門限以降の時間でも可能です。)
※自習室を利用していないがIDの返却が無い場合は、いかなる理由でも警告が与えられます。(例：IDを返却し忘れたままお部屋で就寝してしまった等)
 - 門限以降の時間帯 (23時～5時) は、学生名簿を持ったガードマンは学校入り口ではなく、外のTsai hotel エントランスにて生徒さんの出入りをチェックしております。
 - 金曜日、土曜日、祝日の前の日は門限以降の帰寮や外泊が可能になります。

注意点

- 上記の時間帯も、寮内をランダムに巡回します。
- 本校の学生であることを証明するため、学校施設使用時はIDを必ず首から下げてください。
- 学校以外への外出時は首から下げる必要はありませんが、安全のため必ず携帯してください。
- 学生証 (SSP) はセブ島生活での有効な身分証明書です。(場所によっては学割を受ける事も出来ます)

1) 食事時間：ビュッフェスタイル

朝食：(平日) 7:00～8:00 (土日祝日) 8:00～9:00
昼食：12:00～13:00
夕食：17:30～18:30 (※若干遅れることがあります)
※食事無しコースの方
寮で食事をとる際は、必ず事前にオフィスにてクーポンをご購入頂き、食堂スタッフへ渡してください。
朝食100ペソ、昼食/夕食200ペソ

2) 部屋：

- 掃除：週2回実施 (部屋によって曜日が異なります。)
 - 現金・貴重品は見えない所に保管してください。→貴重品などはスーツケースなどに入れて鍵をかけるようにしてください。
 - ゴミ出し：部屋の掃除の際にフィリピン人のスタッフが、ゴミを回収してくれますが、各自ホテルの公用のゴミ箱に捨てることも可能です。
 - トイレ：Tsai Hotel ではトイレに紙を流すことが出来ます。(フィリピンのほとんどのトイレでは紙を流しません) ※トイレットペーパー以外紙 (ティッシュ等) は流さないようにしてください。
 - 部屋の施設が故障した場合はすぐに事務所で報告してください。稀に、部屋のドアが電池切れの為開かない場合がございます。その場合はTsai hotel スタッフに報告してください。夜間の場合でもメンテナンススタッフが常に待機しております。
 - 部屋を変更したい場合は寮スタッフに要相談。
 - お部屋をアップグレードされる際は差額をお支払いいただきます。(例：2人部屋⇒1人部屋など)
 - お部屋をダウングレードされる際は当校からの差額の返金はございません。(例：1人部屋⇒2人部屋など)
 - ルームキーを紛失してしまった場合は弁償金 Php500 をお支払いいただきます。

3) 貴重品管理

- 貴重品の管理は個人の責任の元行って下さい。
- 貴重品はスーツケースの中に入れ鍵をかけ、自己管理を徹底して下さい。
- 各お部屋に設置されている金庫に保管して下さい。金庫の鍵は紛失時、弁償金 Php 400。
- 紛失した物に関して当校では一切責任を負いません。

4) 洗濯サービス：洗濯サービスは週2回実施しています。(部屋によって曜日が異なります。)

- 洗濯物は必ず数量をチェックしてから提出して下さい。
- なお、洗濯時の脱色や収縮、紛失 (ポケット内含む) に対しては保証されませんので、高価な衣類は個別で管理、洗濯をお願いします。(個別で洗濯時：7:22時まで 洗剤持参)
- お渡ししたランドリーバッグに入れ、部屋の扉の内側 (見えるところ) に置いてください。当校スタッフが回収しに参ります。その日の夕方頃にランドリーバックをお返しに参ります。(※届くのが翌朝になる事もあります。)
- ランドリーバッグは退寮時に返却して頂きます。
- 稀に自分のものではない服が紛れこんでいることがあります。万が一発見した場合は、必ず学校スタッフまでお知らせください。

5) ID：⇒ 学生証を発行

● 学校の ID

- 数日で発行されます。発行後、通学の際は必ず携帯して下さい。
- 紛失時は再発行費用 Php500 をお支払いいただきます。写真と費用を事務所にてお支払い下さい。
- 学校の施設利用時 (レストラン、教室、自習室) は必ずIDを首から下げてください。

6) 各施設・サービスの利用

- インターネット利用 (ZEN ENGLISH password: secureZen.4321)
館内には無線インターネットが通っています。パスワードについては接続後の入力になります。
- トレーニングジムの利用 月～土曜日 6:00～21:00 (日曜日休館)
JY モーールの2階にあるトレーニングジムを当校の生徒の方は無料で利用することができます。
※利用の際は必ず、学校IDを提示してください。(内履き必須)
- プリントサービス サイズ：A4のみ/白黒2ペソ、カラー10ペソ ※留学最終週にまとめて支払い
- ZEN English カフェ (7:00-16:30) 各種ドリンクを提供 ※留学最終週にまとめて支払い

7) その他

- a) Tsai ホテルは一般のお客様もいらっしゃいます。寮内では静粛にして下さい。
b) 食堂の食器類の持ち出しは禁止です。

8) 寮内器物破損：

個人の不注意、または故意に寮内の器物を破損した場合、いかなる理由であっても弁償していただきます。
また、ペナルティとして破損したものに×1.5の金額が加算されます。
(例：電球を破損し、電球が100ペソの場合、100×1.5=150ペソが請求されます。)

9) 罰則事項

多くの人が一緒に住む寮ではお互いが快適に生活できるよう禁止事項を設けています。
違反時には退学＝退学になる事がありますので、十二分に注意して下さい。
※退学＝退学の罰則を受けた場合、一切の返金はございません。また、退学宣告から24時間以内寮を出ていただきます。

1、即退学

- 一他の学生を扇動して学校側に損・被害を与える行為や集会を開く行為。
- 一室内飲酒及び暴力・器物破損。
- 一集団もしくは個人間の暴力行為。
- 一異性の部屋への出入り。
- 一寮内での炊事行為。(お湯のみを使うインスタントは可能)
- 一無断で扉を越える行為または無断侵入。
- 一寮・教育サイドのマネージャーの正当な業務上の指示に従わず、正常な寮・教育運営に支障を与える場合。
- 一いかなる違法行為、フィリピン法、国際法に触れる行為を行った場合。(窃盗、薬物使用など)
- 一外部の人を寮に入れた場合。

2、警告退室 (3回警告を受けると退室)

- 一酒類の内部への持ち込み 一20歳未満の外部での飲酒
- 一20歳未満同伴での外部での飲酒 一言業の暴力及び故意に他人に突っかかる行為
- 一外出時間違反 一他人の勉強を妨害する行為
- 一不美な授業態度 一無断外泊
- 一無断欠席 一大声で騒ぎ立てる行為

10) 外部 (寮生以外) の人を寮に連れてくる場合：

外部の人は寮への立ち入りは禁止されています。ご家族の方のみ、例外で立ち入り許可される場合があります。
一立ち入り可能時間 8:00～18:00
一両親を除く、訪問者は個人の部屋へは入れません。ホテルフロント、カフェ等の施設などでお過ごし下さい。
一訪問の1日前までに寮マネージャーから許可を得て下さい。

11) ビザ手続き代行サービス：

- ・SSP申請
学生ビザ申請代金として6500ペソを初日にオフィスにてお支払いください。(3週間以上滞在中の方は一緒にデポジット2500ペソ支払い)
- ・パスポートは出発までオフィスに預けてください。
ご自分で持ちになる場合は、ビザ延長も含めた管理を全て自己責任にてお願いします (ビザ延長を忘れると移民局から罰金が発生します) 場合によっては当校では延長が出来ず、各自にて直接移民局へ行っていただく場合がございます。ビザ延長料金は、政府による決定であり、滞在中に下記の料金から変更になる場合があります。

延長回数	費用	滞在日数
初回	PHP 3,230	29日
2回目	PHP 7,500 (ACR-I Card + BIC 費用含む)	30日
3回目	PHP 3,700	30日
4回目	PHP 2,530	30日
5回目	PHP 3,940	30日
6回目	PHP 2,340 + ECC 費用 (PHP 500)	30日

※2ヶ月分まとめた延長も可能です。値段は変動しますのでフィリピン人スタッフまでお問い合わせ下さい。

12) オーバーステイ：研修終了後、日曜日以降滞在する場合はオーバーステイ費がかかります。

- a) 期間：1週間まで可能
※空き部屋がある場合のみになります。
- b) 料金 (1日)：1人部屋 PHP 2,000
2人部屋 PHP 1,400
3人部屋 PHP 1,200

13) キャンセルポリシー：個人の都合により授業を中断し、退学される場合の返金規定4週間以上残っている場合に適用されます。

- a) 予定研修期間の25%未満を消化：
登録金とSSP発行費用、受け取った教材費、ピックアップ費を除き、未消化の研習費用の50%を払い戻し致します。4週間単位で計算します。
例) 残余期間が20週の場合、10週ではなく8週分の学費と寮費が返金対象となる。
- b) 予定研修期間の25%以上50%未満を消化：
登録金とSSP発行費用、受け取った教材費、ピックアップ費を除き、未消化の研習費用の25%を払い戻し。4週間単位で計算します。
例) 残余期間が20週の場合、5週ではなく4週分の学費と寮費が返金対象となる。
- c) 予定研修期間の50%以上を消化：
払い戻し不可となります。
□例外事項1
一直系家族が死亡した場合、残りの期間に関係なく残りの期間の50%を払い戻しする。
一関連書類の提出必須。
□例外事項2
一天変地異などの不可抗力による授業の中断に関しては、補償・返金対象からは除外します。

14) お帰りの際のご案内：退寮は土曜日の13時までにお願致します。(それ以降の場合には延泊費が発生することもございます。)

1 オフィスにてルームチェック手続き予約を取っていただきます。(ルームチェック実施日は出発日または前日)
帰国日にオフィスが開いていない場合のみ前日までにルームチェックを必ず済ましてください。
フィリピン人スタッフに立会い、ルームチェック後、該当者の方はオフィスにて電気代支払い及びデポジット受け取り (パスポート受け取り) (滞在が2週間までの人は寮費に電気

代が含まれます)

※月～金 8:00-17:30(12:00-13:00を除く)の間にオフィスにて以上の手続きを行ってください。

- 2 出発の際に、ルームキー、セーフティーボックスキー、学生証を受付ガード(教室前)へ預けてください。
- 3 フライト2時間前に空港に到着するように寮を出発してください。
- 4 各自でタクシーを利用して空港へ向かう。(運転手に Domestic か International かを伝える。)
- 5 空港到着後、搭乗手続きを済ませる。その際に、セブから直行便で帰国の場合は空港にて税金を支払う。マニラ経由の方はマニラで支払う。
- 6 下記フィリピン観光省ページより引用
空港税
マニラ国際空港出国時に550ペソ、セブ国際空港出国時にも750ペソが必要です。※空港税は各航空会社によって航空券に含まれている場合があります。

注意点

- ・空港へは必ず余裕をもって出発して下さい。
- ・寮から空港までは所要時間30-40分くらいです。
- ・タクシー代はおおよそ200-300ペソです。
- ・フィリピン出国の際に、セブ空港出発の場合750ペソ、マニラ出発の場合550ペソが必要です。
- ・帰国日当日のオフィスが開いている時間「8:00-17:30(12:00-13:00を除く)」にオフィスへ行き、フィリピン人スタッフにルームチェックをしてもらってください。

15) 寮の連絡

住所: Roly Poly office, Tsai Hotel, 11 Wilson St. Apas, Lahug, Cebu City, Philippines, 6000
TEL: 032-236-2027

16) ドライヤー貸し出し(滞在2週間以下の方が対象となります)※数量限定

ヘアードライヤーを無料で貸し出しています。詳しくはスタッフまでお問い合わせください。
※デポジット必須 デポジット1500ペソ
(万が一、紛失又は破損された場合はデポジットの返金はありません)

19) ドクター回診・ナースサービス

ドクター回診: 毎週水曜日16時～(要予約)
ナース: 平日8-17時 ※処方箋が必要な薬はお渡しできません

II 学校

(1) 授業:

月曜日～金曜日

2) 無料オプションクラス: 空きセッションに受けることができるグループクラスです。

※事前申し込みが必要です。

月～金 場所: グループ教室

※オプションクラスは担当の講師により内容が変動します。

※IELTS クラスは中級者以上(TOEIC600点 or IELTS5以上)を対象としています。

3) 教科書について

授業で使う教材は無料でお渡ししております。

4) パディーターチャー制度

パディーターチャーとは、マンツーマン講師の担任の先生のような存在です。留学生一人一人に、選抜された経験豊富なフィリピン人講師をつけ、毎日の授業スケジュールの中で必ず2時間(1コマ)パディーターチャーとのマンツーマン授業が組み込まれます。パディーターチャーをつけることにより、学習方法だけでなく生活面、他の講師との授業の進捗度等、留学生が気軽に相談できる環境をご提供できます。

5) サイクル制度・講師の変更

ZEN Englishでは4週間で1サイクルとして、スケジュール・担当教師が自動的に入れ替わります。

それ以外で講師との相性や授業スタイルが合わない場合には、空き状況によって先生の変更が可能です。

その場合、双方(学生と講師)の意見を参考にし、正当な理由であると判断された場合には変更が可能です。

・講師のリクエスト→次回サイクル講師(1名のみ)のリクエストが可能です。(締め切り: サイクル3週目まで)

6) 自習室の利用

24時間解放しています。室内での私語・食事は禁止です。

※最後に部屋を出ていく時は、ライトとエアコンを消していただくようお願いいたします。

7) チューター制度(任意)

日本人マネージャーが英語学習の進め方や方法についてカウンセリングをします。

※留学初日に行い、その後は希望制となります。

8) 週末の TOEIC&IELTS(Listening/Reading) 模擬テスト

毎週土曜日の午前中に本番形式での TOEIC(L&R)&IELTS の模擬テストを開催しています。

希望時にはオフィスにて規定の用紙に記入の上、お申し込みください。

場所: グループ教室・自習室

1 授業が行われない場合:

以下の場合には授業は行われません。補講は基本的にはありませんが、状況によっては開催される場合もあります。

また開催されない授業に関しての返金はございません。

1. フィリピン政府が制定する公休日や祝日。
2. 自然災害や天変地異などの不可抗力により学校が閉鎖、もしくは講師の登校が困難な場合。
3. その他フィリピン政府、大学行政側より学校の閉鎖命令が出された場合。

2 授業参加を制限する場合

1. 入院が必要な疾患を負っている、医師の診断により授業参加を止められている場合。
2. 感染する疾患を負っている場合。(肺炎、水痘、麻疹、風疹、帯状疱疹など)
3. その他、身体的、精神的、状況的に授業の受講が困難だと判断される場合。

9) その他:

1. 講師と二人きりで個人的に外出禁止。三人以上のグループであれば、金曜と土曜、祝日の前の日に外出が可能。また、留学最終週であれば、週末でなくてもランチタイム、ディナーの外出が可能。外出を希望時には学校マネージャーに許可を得てください。
外泊及びにセブ市以外の外出は禁止しております。
2. 修了証とは別途に出席率の証明書などが必要な場合は手数料200ペソで発行が可能です。
3. 修了証は出席率90%以上を満了した生徒にのみ発行されます。

III. ホテル規則

1. ホテルルームの清潔状態を維持し設置された付属品の使用に十分な注意を払うこと。
2. ホテルに到着後 お部屋の付属品の中に 破損、故障、紛失されたアイテムがあった場合、ホテルデスクに報告して下さい。
3. 部屋に配置された付属品(キャビネット、マットレス、ドア その他家具等)を破損された場合、損傷範囲によってはホテルより請求される罰金をお支払い頂きます。
4. 壁にドリルで穴を掘る行為、釘やネジ、画鋲等を刺す行為は禁止しております。違反された

際はホテルより請求される罰金をお支払い頂きます。

5. ペット等 動物の持ち込みは禁止しております。
6. 室内での喫煙は厳しく禁じております。摘発時300ペソの罰金が賦課されます。
7. 火災危機を防止するため、部屋での蚊取り線香の使用や喫煙、その他の火災原因となる機器等の使用は禁止しております。
8. 館内へのアルコール飲料の持ち込みは禁じております。また、飲酒によるトラブルが発生した場合、管理者より処罰が与えられます。
9. 洗濯物をバルコニーの手摺で干すことは禁じております。摘発時1,500ペソの罰金が賦課されます。
10. 共用ゴミ収集箱が駐車場横に設置されているので、分別を徹底し、ごみを捨てるようお願い致します。分離収集違反時1,500ペソの罰金が賦課されます。
11. 不法麻薬または薬物の使用は厳しく禁じているため、薬物使用者は即座にフィリピンの該当機関へ移送致します。
12. チェックアウトの際、各お部屋のカードキーはフロントデスクに返却いたします。カードキーを紛失された場合1,000ペソの罰金が賦課されます。
13. 全宿泊者は居住している他の宿泊客に対しマナーを持ち、良好な関係を築くよう努めてください。
14. ホテル館内にて大声で騒いだり他の宿泊客の生活の妨げとなる行為は強く禁じております。特に深夜帯は静粛に過ごされるようお願い致します。
15. 節約の為、外出する際は節水、節電を十分に確認し、電気製品のプラグを抜いて頂くようよろしくお願い致します。
16. ホテル宿泊期間中、貴重品の管理には細心の注意を払い自己管理を徹底して下さい。紛失時、ホテル側では責任を負いません。
17. ホテル管理者の許可のない訪問者は禁じております。
18. 外部からの訪問者がホテル宿泊客を訪ねる際は、必ずフロントデスクより許可を取得し、IDを預け署名して頂きます。
19. 外部訪問者は宿泊客後、部屋に立ち入りが可能です。
20. 外部からの訪問者は宿泊客へ害を加える有害物質や物品を持ち込むことはできません。摘発時、ホテルセキュリティへ引き渡し致します。
21. 外部訪問者のアルコール飲料の持ち込みは禁じております。
22. ホテル管理側はホテル規定が正しく実行されているか確認するため無申告で各お部屋内を点検できる権限を所持しています。ホテル規定を違反した宿泊者に対しては制裁措置を取らせて頂きます。

安全管理について

セブで生活される際、皆さんがセブでは外国人であるということを常に意識する事が重要です。フィリピンでは人々は外国人はお金持ちという先入観を持っています。また外国人は外見もフィリピン人とも違うため目立ちます。自分が目立つ存在であり、なおかつお金持ちだと見られている、常に誰かから見られている事を認識して下さい。

- 1) 夜、暗くなってからは絶対に一人で歩かない。夜遅くには大人数でも道は歩かない。
- 2) 夜出掛ける際はタクシーを利用する。帰って来る際もタクシーで寮の門の前まで来る。
 1. 近くでもタクシーを利用する。
 2. 大通りで大通りが多い道も夜は徒歩は避け、タクシーを利用する。
 3. おつりでもめないこと。500ペソや1000ペソではおつりがない場合がございます。なるべく細かいお金を持って行くようにしてください。
- 3) タクシーでは後部座席に乗り、支払いの際も財布の中のお金を見せない。助手席に乗る人は自分の荷物に注意する。
- 4) 夜のタクシーはなるべく一人では乗らない。極力、モールのタクシー乗り場等、安全なタクシーを利用すること。
- 5) ジブニーは極力乗らない。(お乗りになる場合は自己責任でお願いします。
 1. 乗る時にはよく知っている番号にだけ乗る。
 2. 夕方暗くなってからは乗らない。深夜のジブニーは絶対に乗らない。(強盗などの危険あり)
 - 6) 華美な服装で歩かない。シンプルな格好を心がける。
 - 7) 高価な物を見せびらかさない。
 1. iPhone、iPodやカメラなどを首や首に掛けて歩かない。
 2. 大量の現金を目前で見せない。(マネークリップなどは使用しない)
 - 8) 貴重品はポケットに入れない。(スリ、盗難、紛失防止のため)
 - 9) 貴重品・鞆など、自分の持ち物から目を離さない。
 1. レストランやホテルで誰かと一緒にでも、自分の持ち物は常に自分で持つ。
 - 10) 失くしたら絶対にダメな物は必要時以外は持ち歩かない。
 1. パスポート、免許証、保険証、社員証など日本の身分証明書、大事なデータが入ったもの等
 2. 携帯電話内のデータ(連絡先など)などはバックアップを取っておく。
 3. 紛失したら戻ってくる事はほぼありません。

11) 街中で知らない人から声を掛けられても応じない。特に日本語で話しかけてくる人には注意する。

1. 日本人留学生を狙ったトランプ詐欺が多発しています。知らない人には絶対についていけない事。
- 2) 知り合って間もないフィリピン人の家などに不用意について行かない。
- 13) ストリートチルドレン、物乞いなどに注意する。
 1. ストリートチルドレンによる強盗、スリが多発しています。近づいて来たら、毅然とした態度で接し、必要に応じて威嚇をするようにし、周辺に近づかせない。
 2. 学校の前の大通り(Salinas Drive)、マンガースクエア周辺などは特に気を付けてください。
 3. とにかく、道を歩く時、外出をする時には貴重品は極力持ち歩かない、ポケットに入れない、カバンは抱えるようにして持つようにする事。
- 14) お金やビジネス関係、男女関係には十分に注意し、出来る限り関わらないようにする。
- 15) 知らない人からドリンクやタバコを渡されても断る。(睡眠薬詐欺や、麻薬など)
- 16) 危険地域(ダウンタウンなど)に行く時は日中は十分に注意する。夜には絶対に行かない。
- 17) トラブルになりそうな時はすぐその場から離れる。
- 18) トラブルに巻き込まれた時にはすぐ学校スタッフに連絡する。
- 19) 強盗に遭った時には、抵抗せずに物品を渡す。
 1. フィリピンの犯罪は銃器を所持している事が多く、抵抗すると危害を加えられる事がある。
 2. 抵抗をしなければ特に危害を加えられる事はない。自分の命を第一に。
- 20) その他危険な行動は絶対に行わない。ハメを外さない。違法行為は絶対に行わない。
- 21) 外食をする際には、衛生状態に気を付けて下さい。屋台のもの、野外にあるもの、生もので長期間常温で陳列されているものはお避け下さい。フルーツカットされているものは買わないで下さい。
- 22) 狂犬病: フィリピンにはまだ狂犬病が残っています。発症すると致死率95%以上です。野良犬はもちろんの事、フィリピンの野生動物は絶対に触らないで下さい。万が一動物などに噛まれた、又は引っ掛かれた場合には、すぐに日本人スタッフに連絡をするか、以下の病院の救急病棟(ER)に直行して下さい。
- 23) デング熱: 蚊を媒体として感染する感染症で、血液中の血小板が減少する病気で。高熱が何日も続いている、体に赤い斑点が出ている、鼻血が出ているなどの症状がある時にはデング熱の可能性があるので、すぐに病院に行くようにして下さい。

アクセス



学校情報

ZEN English フィリピンセブ島

名称	ZEN English		
所在地・住所	フィリピン セブ マクタン国際空港から車で30分のセブシティ内 Tsai Hotel, 11, Wilson Street, Lahug, Cebu City, 6000, Philippines		
電話番号	+63-32-236-2027	設立年度	2009年～(旧 USP-ESL) 2016年7月より名称変更
SSP	RADJR-2011-028	TESDA	NTR NO.1107020008
講師	約20名 (イギリス人ネイティブ1名)	学生定員	約30人
講義室	1(グループ)/24(1:1)	レベル数	6段階(Beginner～Advance)
日本人比率	70%	日本人スタッフ	5名(正社員、学生スタッフ)

ZEN English 日本オフィス

所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-9 ヒューリック渋谷1丁目ビル7F CROSSCOOP内
Eメール	info@zen-english.jp

Webサイト

ホームページ	http://zen-english.jp/
Facebook	https://www.facebook.com/zenenglisheducation/
学校ブログ	http://zen-english.jp/blogs/
留学ブログ	http://zen-english.jp/blog/

Certification ～資格～

ZEN English はフィリピン政府より認可された正規の英語学校です。学校設備や経営、カリキュラムや講師の指導技術など、一定の水準を満たした学校にしか与えられない TESDA の認定をオフラインとオンラインの両方で取得しています。また、TESDA 認定校にのみ与えられる SSP 発給認可校の認定も受けています。

TESDA

TESDA とは、フィリピンの専門的教育と技術の向上機関です。TESDA の認定を受けるためには学校の経営や財政、学校設置に関わる書類、カリキュラムの内容についてなど、細かい審査をクリアしなければなりません。TESDA の審査は非常に厳しく、フィリピン内でも認定されている学校はごくわずかです。

SSP

SSP とは、観光ビザで滞在する外国人がフィリピンで就学するために必要な「特別就学認可証」のことを言います。SSP 発給認可校となるには TESDA の認定を受け、さらに一定の水準を満たしていることが条件となります。